

岸和田市 一般廃棄物処理基本計画（ごみ編） 概要版

1. 計画策定の趣旨

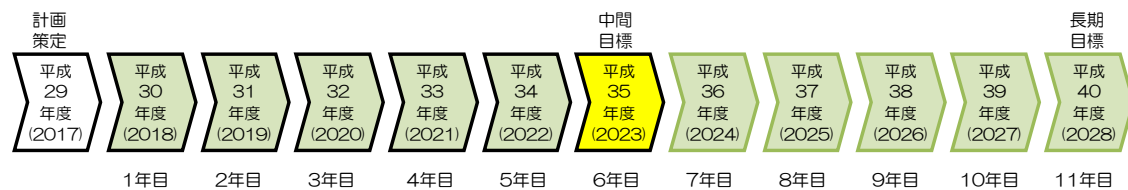
岸和田市（以下、「本市」という。）では、平成10年3月に一般廃棄物（ごみ）処理基本計画を策定し、平成13年5月、平成25年4月に見直しを行った。

その後、本市及び貝塚市で構成している、岸和田市貝塚市清掃施設組合（以下、「組合」という。）において、一般廃棄物処理基本計画（ごみ編）（以下、「本計画」という。）を策定することが決定し、それにあわせ、これまで策定期間にずれが生じていた、本市と貝塚市の一般廃棄物処理基本計画（ごみ編）の策定期間及び目標期間等の整合を図ることとした。

そのような状況から、このたび、本市、貝塚市、及び組合それぞれにおいて、本計画を策定する。

2. 本計画の目標年度

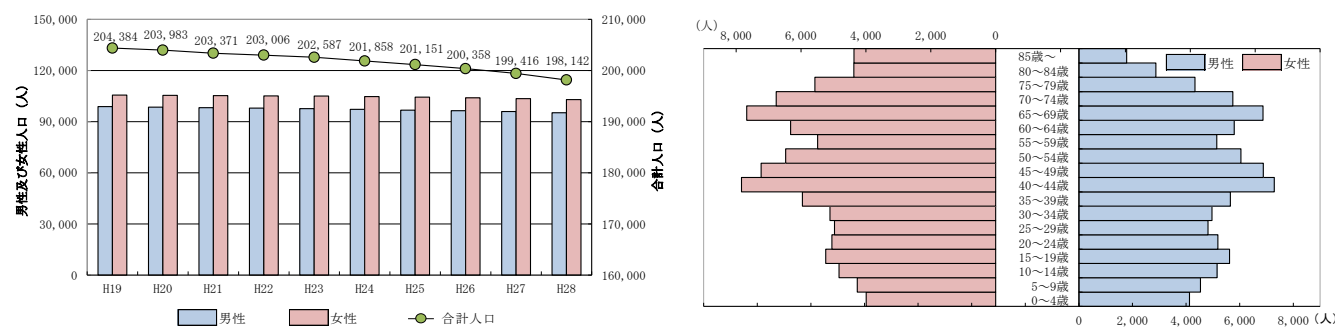
本計画では、次に示すとおり、平成30年度（2018年度）を初年度とし、平成40年度（2028年度）を目標年度とする。また、計画の進捗状況を把握し、計画見直しを適切に実施していくため、平成35年度を中間目標年度に設定する。



3. 人口及びごみ処理実績の推移

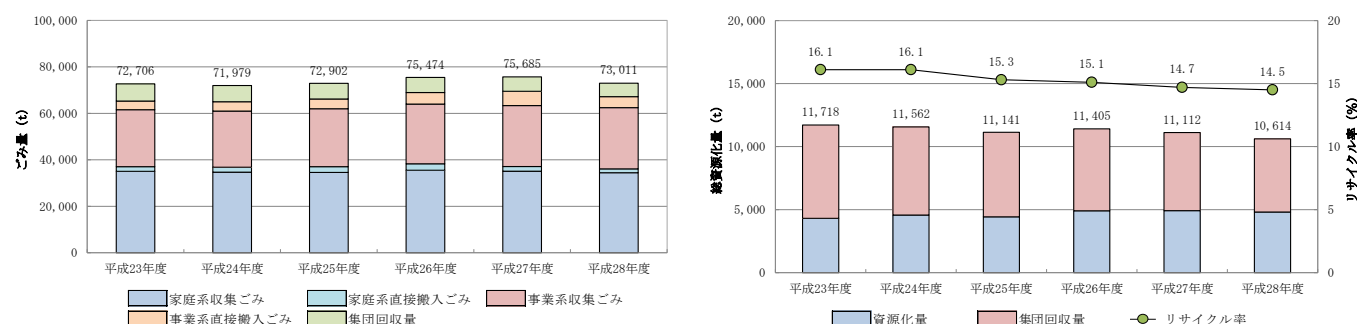
1) 人口

本市の平成19年度から平成28年度の人口の推移及び平成28年度の人口ピラミッドは次に示すとおりである。



2) 各種ごみ量

本市の平成23年度から平成28年度のごみ量等（左：全体、右：リサイクル率）は次に示すとおりである。



4. 目標の設定

1) 人口

本市の将来推計人口は次に示すとおりである。

【概要】

本市が毎年度更新している推計人口の値を将来人口推計値として採用する

【目標年度の値（平成28年度 ⇒ 平成35年度 ⇒ 平成40年度）】

○ 人口 (人) : 12,877人減少 (198,142 ⇒ 191,127 ⇒ 185,265)

2) ごみ量等

本市は、ごみ減量化施策の周知徹底を図り、目標年度において、次に示す目標値の達成を目指す。

【概要】

平成23年度以降の実績の推移及び社会環境の変化等を踏まえ、それに対応した減量化施策を行うものとし推計する

【目標年度の値（平成28年度 ⇒ 平成35年度 ⇒ 平成40年度）】

(1) 家庭系ごみ（※原単位：1人1日平均排出量）

○ 原単位 (g/人日) : 1.7g/人日の減少 (499.5 ⇒ 498.5 ⇒ 497.8)

○ ごみ量 (t) : 6.8% (2,465t) の減少 (36,127 ⇒ 34,776 ⇒ 33,662)

(2) 事業系ごみ（※原単位：1事業1年あたり排出量）

○ 原単位 (t/事業所) : 0.1t/事業所の減少 (4.0 ⇒ 3.9 ⇒ 3.9)

○ ごみ量 (t) : 4.0% (1,243t) の減少 (31,081 ⇒ 30,353 ⇒ 29,838)

(3) リサイクル率

○ リサイクル率 (%) : 0.4%の増加 (14.5 ⇒ 14.8 ⇒ 14.9)

(4) 最終処分率

○ 最終処分率 (%) : 現状維持 (12.9% ⇒ 12.9% ⇒ 12.9%)

5. ごみ減量化施策について

本市では、ごみの発生抑制・リサイクルの目標を達成するために、「【参考】ごみ減量化施策一覧」に示すNO.1からNo.38までのごみ減量化施策を検討・実施する。

